

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

質問項目

吉川 まゆみ 議員 11 ページ

- ① 新型コロナワクチン接種について
- ② あんしん電話(緊急通報装置)の利用について
- ③ コロナ禍での高齢者の健康維持について

栗田 隆 議員 12 ページ

- ① ワクチン接種について
- ② ゴミ問題について
- ③ ICT教育について

柵津 明子 議員 12 ページ

- ① DX化、ゼロカーボン社会の実現に向けて
- ② 稼げるまちづくりについて
- ③ 新規創業を促すために

玉川 清史 議員 13 ページ

- ① 少人数学級実現に向けて
- ② 子育て支援について

中島 新一 議員 13 ページ

- ① アフターコロナに向けて
- ② 森林整備について

山城 峻一 議員 14 ページ

- ① びんぐしの里公園について
- ② 児童館について
- ③ 男女共同参画社会のまちづくり

小宮山 定彦 議員 14 ページ

- ① 林業振興について
- ② 一般廃棄物処理について

塩野入 猛 議員 15 ページ

- ① 新型コロナワクチン接種について
- ② 国道18号バイパスについて

朝倉 国勝 議員 15 ページ

- ① コロナ対策について
- ② 国土利用計画について
- ③ 町の表彰式について

大森 茂彦 議員 16 ページ

- ① 地域公共交通の構築は
- ② 総合戦略と人口ビジョンについて
- ③ 男女共同参画計画の町づくり

滝沢 幸映 議員 16 ページ

- ① 長期総合計画について
- ② 国際交流と海外派遣について

大日向 進也 議員 17 ページ

- ① 鉄の展示館西側の土地の利用について
- ② 空き家対策について

中嶋 登 議員 17 ページ

- ① ふるさと納税について
- ② 地球温暖化について
- ③ 気候非常事態宣言について

あんしん電話

新たな機器の内容は

無線方式のシステムへ移行

問 「高齢者見守り事業」のひとつ「あんしん電話」の内容と利用状況は。福祉健康課長 平成6年に導入。町の一人暮らし高齢者台帳に登録のある65歳以上を対象として設置。当初は110台だったが、現在は75台である。受信センターへの通報の内容に応じて、相談を受けたら、緊急時には利用者宅へ



吉川 まゆみ 議員

問 新年度更新する機器の内容は。福祉健康課長 固定電話や携帯電話がなくても対応できる無線方式のシステムへ移行する。9月頃までを目的に現在の利用者7名を優先し設置していく。その後は、未利用の一人暮らし高齢者台帳登録者に新システムの案内を行い、令和3年度中に100台程度

確認に行く。28年度の利用者は92名、29年度は91名、30年度は88名、令和元年度は82名、2年度は12月末現在75名で、待機者は7名である。

問 設置を見込んでいます。軽井沢町は老老世帯も利用できる。当町も利用の枠を拡大できないか。福祉健康課長 今は対象

をを広げるのではなく、登録されている方に、利用の意向について確認を進めていきたい。



命を守るあんしん電話



栗田 隆 議員

希望しない人への配慮を

十分な広報を行う

ワクチン

問 個人が意思決定する場合必要となるものは、

- (一) 正確な情報・データ
- (二) 正しい科学的知見
- (三) 不当な圧力が無いこと
- (四) バランス感覚を持った冷静な熟慮

今回のコロナ騒動では、発症者数・死亡者数に関しては正確なデータとは

言い難い。一方、年間死亡者数が減少したという喜ばしい事実は日本ではほとんど報道されなかった。接種されるワクチンは従来のワクチンとは違うRNA遺伝子を注入するという世界初の試みである。長期にわたっての治験もない。同調圧力も強い。こういったことを勘案すれば「急いで接種をする必要はない」という判断も十分に合理的である。接種しない人に対する差別などへの対策は。



戸別収集（横浜市）

保健センター所長 接種を受けない人に対し、誤った知識や不確かな情報による、不当な差別などの人権問題が起こらないように十分に広報していく。

ゴミの戸別収集について

問 ゴミ出し困難者に対して戸別収集等の取り組みは。

町長 収集体制など先進事例などを参考にしながら検討していく。

新・商工業

新社会実現に向けて

4団体で連携し研究する



柘津 明子 議員

問 DX化、ゼロカーボン社会の実現に向けた今後の計画は。

町長 町と商工会、(公財)さかきテクノセンター、テクノハート坂城協同組合が連携し、町内事業者からのニーズを聞くとともに、国・県等の支援策の動向を注視しながら町内産業におけるDX化、ゼロカーボン化の推進に向けた支援策等について研究していく。

まち活性化に向けて



金属3Dプリンター導入

問 稼げるまちづくりの一つとして、駅周辺の整備と活性化に向けた町の考えは。

商工農林課長 3年度、坂城高校と筑波大学との高大連携事業を計画。この事業は、データ分析に基づき社会問題の解決

などを学ぶ筑波大学の学生が当町を訪れ、坂城高校の生徒と共同しワールドワークなどを通してまちづくりに係るテーマを設定し、ワークショップを行う。駅周辺の活性化などについて若者目線によるアイデアに期待する。また、昨年取得した鉄の展示館西側の土地も含め、魅力ある中心市街地として環境を整え、賑わいによる波及効果で地域経済の活性化につなげていきたいと考えている。

少人数学級

さらにすすめる考えは

県に体制の充実を要望



玉川 清史 議員

問 現在40人学級として
いる国が、コロナ感染症
対策も考慮して35人学級
の方針を示した。県はす

でに35人学級をおこなっ
ており、町でも実現して
いるが、少人数学級をさ
らにすすめる考えは。

教育長 平成14年からの
県の「信州少人数教育推
進事業」により、町内各小
学校に加配の教員が配置
され、すべての学級が35
人以下の学級編制になっ

ている。また、町としては
児童生徒支援員を各学校
に3人ずつ配置してい
る。

こうした学級編制で、
児童生徒へのより細やか
な対応や個に寄り添った
学習指導が図られたなど
の具体的な成果も挙がっ
ている。

国の施策として35人以
下学級が今後拡大してい
く中で、県にはさらに体
制を充実するように教育
関係の諸団体と連携して
要望していく。

子育て支援について

問 子育て短期支援事業
が始まるのはいつか。

町長 事業には児童の短
期入所生活援助事業と夜
間養護等事業がある。現
在宿泊や夜間の受け入れ
が可能な町外の児童養護
施設等の選定と契約の準
備を進めており、4月か
らの実施予定である。



児童養護施設（千曲市）

町イベントの開催は

実施に向け準備

コロナ後



中島 新一 議員

問 事業所への支援と町
主要イベント開催に向け
ての考えは。また、花火大
会の開催を。

町長 今後は、ワクチン接
種が始まり感染の状況は
改善されていくと期待す
るが、しばらくの間は飲食

店等を取り巻く環境は厳
しい状況が続くと予想さ
れる。引き続き、商工会等
と情報共有及び連携しな
がら事業所に対し令和3
年度も消費喚起策や新た
な支援策も検討していき
たい。

主要イベントの開催に
ついては、ばら祭りや坂城
どんどの開催に向けて
各実行委員会への補助金
を予算計上した。感染状況
にもよるが、国や県の感染
防止ガイドライン等に沿
い実施に向け準備を進め

ていく。花火大会は、近隣
市町村と連携した話があ
れば検討していく。

森林整備について

問 町有林の整備について
町有林課長 町有林の
整備を行うため10名の林
業委員を委嘱し、下草刈
りや枝打ち、獣害防止の
ための忌避剤の塗布等の
作業を行っている。引き
続き林業委員を中心に整
備などに取り組む。



ばら祭りの開催が待ち遠しい